



とよおか

議会だより

第 17 号

平成14年10月31日

発行/豊丘村議会 編集/議会だより編集委員会 印刷/龍共印刷(株)



豊丘太鼓発足 5 周年

9月定例会

9月定例会の様子	2~3
決算審議の様子	4~7
一般質問の様子	8~13
追 跡	13
委員会だより	14~15
「私の一言」、ブロック議会合併問題研究会、編集後記	16





「緑づくり活動推進事業」予定地（河野御浅間）
緑の山はみんなの財産

13年度決算認定 田村一貫道開通など

十三年度第三回定例会が九月六日から二十五日まで
の会期で行なわれた。今議会は十三年度決算の認定と、
十四年度の一般会計、国民健康保険、老人保健医療の
各特別会計の補正予算、陳情請願などの審議である。

◆一般会計

十三年度歳入合計は、四十二億一千八百二十八万九千八百七十四円、歳出三十八億八千四百四十九万九千九百九十七円。歳入では地方交付税が前年に続き一億四千七百六十二万九千円と大きく減少、減額した分のほとんどは国の臨時財政対策債で補填されており、百分交付税へ参入されるものの起債残高は増加する。村税では村民税が前年比一千二百八十五万円と大きな減があり、不況の影響が現われている。また前々年度は中学校体育館の建設があったが昨年は事業終了でその分の補助金が減少した。

◆国民健康保険特別会計

十三年度決算、歳入総額四億五千二百八十七万七千円、歳出総額三億七千九百七十四万一千円、被保険者総数は二千三百四十七人で前年度から微増した。

◆老人保健医療特別会計

歳入総額は八億四千九百四十四千円、歳出総額八億四千八百四十七万七千円、老人医療受給者は前年比一・四％の増。医療費総額は受給者増、件数増で九億六千七百二十二万円（個人負担含む）一人あたり老人医療費は、五十八万六千四百九十四円で県内五十位。また病気の傾向として

脳梗塞、ガンなどが増加傾向という。

◆介護保険特別会計

歳入総額三億四千九百七十一万二千円、歳出総額三億四千九百九十五万八千円、十三年度末六十五歳以上は二千四十二名、介護認定者は二百五十五名で、一号被保険者の十一・四四％となっている。なお来年度は介護保険事業計画の見直しの年で、今後懇話会で審議のうえ保険料が決定される。担当の試算では約六百万円ほど上がり、基準の人で三千万円弱となりそうだ。

◆簡易水道特別会計

歳入総額一億九千七百三十三万六千円、歳出総額一億五千八百四十二万四、林水源の水質悪化で硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の基準値を上回り、いずれにせよこのまま放置できないということと、林処理場敷地内に深さ百五十メートルのあらたな深井戸を掘った。水質については少しづつ下がってきており、落ちつきしだいいつなぎ込みを行う。

◆下水道事業特別会計

歳入総額三億三千九百五十九千円、歳出総額一億九千二万円、村全体の水洗化は九十二・八％になった。伴野農集排がいっぱいになっており、伴野地域から林処理場へのつなぎ込みの要望も出ている。

十四年度補正予算

今回は一般会計、国保、老人保健の特別会計の三会計が審議された。

◆一般会計

主なものは南保育園大規模改修の工事変更にもなう補正増五百五十六万四千円。地球温暖化防止のための新規事業（県補助）で、住民の森林整備・保全への参加が期待される緑づくり活動推進事業に二百五十万円、故代田昇氏の寄贈の図書整理費用として臨時雇用賃金として二十五万六千円など。

◆国民健康保険特別会計

大きなものはないが、十月からの老人医療改定にもない老人医療の年齢が引き上げられるが、医療受給者証の変更のための予算など。

◆老人保健医療特別会計

同じく医療受給者証の作成委託料など十五万八千円がある。

◆田村一貫道住宅 移転に関して

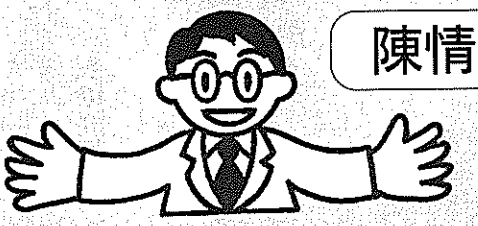
今定例会で大きな特徴となったのは、田村一貫道に関して、豊丘村農業振興事業費、産業振興組合費の補助に関して議論が集中した。

田村一貫道の問題では、補償費に八千八百万円と多額の費用で開通したが、このほかに代替地として譲渡した土地開発公社造成の用地が、同じ住宅団地を購入した他の三人より坪約一万九千円安くされたということも村の政治手法が追求された。

相手のあることで交渉経過にどうしても無理があったことは事実であり、結果として多くの問題が残った。

また農業総合振興費として例年約八百五十万円ほどの予算があるがそれぞれの農産物にある程度まんべんなく補助されているが、実際にはバラツキがある。これではばらまき予算ではないかとの指摘も以前からある。今後の計画の中では見直しの必要も指摘された。

陳情・請願



- 長野県独自の三十人規模学級の小・中学全学年への早期拡大と複式学級の解消、県独自に教職員配置増を求める意見書 採択
- 三十人学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書 採択
- 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する請願 採択
- 支援費制度以降に伴う居宅支援サービス体制の確立を求める意見書 採択
- 障害者の就労の場の拡大と地域生活促進に関する陳情 採択
- 精神障害者通所授産施設建設資金の補助を求める陳情 採択
- 超大型店「ベイシア」の出店阻止に関する陳情 継続

総点検

特別委員会の審議から

その一

平成十三年年度の決算認定は分科会と決算特別委員会で行われ、住民監査請求もあったことを反映して一貫道の移転補償内容についての審査が長時間かけて行われ、結果十二対五で認定となりました。

総務関係

総務・財政
教育・消防は

ホームステイ見直しは

筒井(卓)議員 ホームステイは実施について見直しを行うと聞いたがどんな状況か。

毛涯課長 来年度から見直したいと言ったことで中学生の保護者のアンケートを実施した。これをもとに検討する。続けるとか取り止めるとか決めているわけではない。

久保田議員 子供を持っていない人や経済的に行かせられない家庭の考えも聞くべきだ。

毛涯課長 そうしたい。下平議員 会所や防火水槽の土地は民有地であっても公共性が高いので固定資産税の軽減等政策的配慮が必要ではないか。

中学校校舎の老朽度は

池野議員 村の監査委員の意見書にもあったが校舎の老朽度はどうか。

教育長 この四年程は雨もりなどの修繕はない。来年度国の指導もあり耐震の簡易診断を行いたい。

池野議員 北小学校の備品購入費が南小より多い理由は。教育長 たまたま更新が必要なものがあるが昨年集中したため、双方同じレベルになるよう配慮している。

筒井(卓)議員 多目的広場の遊具修理をしているが、アスレチックを含め利用度はどうか。

教育長 廃止も含め検討したが利用がないわけではないので修理することにした。

北沢議員 東海地震がクローズアップされて来ているが、防災訓練がマンネリ化して来ている。避難訓練や避難場所の表示等やたらどうか。

財政硬直化の心配は

毛涯課長 今年の日曜日だったので出席が多かった。避難場所の表示は来年度の検討事項とされている。

筒井(卓)議員 交付税減少で経常収支比率が上って来ている。財政硬直化が懸念されるが内容の検討をしているか。

唐沢議員 経常収支比率が六九・七％になったからいけないというのか。

掘立処分場の耐水管理は

唐沢議員 掘立処分場の大雨時の耐水処理は大丈夫か。郷土沢ダムの上だが湧出の問題はないか。

森田課長 水質管理を行っている。今のところの分析では問題はない。

福沢議員 吉川建設の処分場の排水分析はしているか。

屋神係長 業者は当然行っているが村でも年一回任意でやっている。今は問題はない。

唐沢議員 大乗坊林道に不法投棄があるが。

森田課長 はじめて聞く。監視員の巡視外なので調査する。

福祉タクシー使い方に問題

北沢議員 福祉タクシー代昨年は一千八百万円だが今年の見通しはどうか。

鹿角議員 タクシーの使い方に関心のある人もある。そのため問題のある人もある。そのため検討が必要ではないか。

村長 利用人数も増加しており今年は一千万円余と見られる。利用に適正を欠くところが見られるので今検討している。

社会環境関係

保健・医療
福祉・環境は

インフルエンザ予防の効果は

田中議員 老人のインフルエンザ予防接種がはじまったが効果はどうか。

林係長 例年のピークは二月だが今年の二月は子供が多く年寄りには少なかったと村内医は言っている。データはない。今年十月から始まる。

福沢議員 成人病検診の内容はどうなっている。

国保税上げはないか

福沢議員 国保税引下げを続けたが繰越金も少なくなかった。将来上げる必要はないか。

シルバー人材センターの運営は

片桐議員 喬木村が脱退したと言いが運営状況はどうなっているか。

通しが立たない。唐沢議員 介護保険の低所得者の利用料軽減の予算二百七十七万五千円支出五十二万円だが申請落ちはないか。

伊藤課長 現在の加盟は飯田市、松川、高森、豊丘で、国の補助がなくなると村の持出しが多くなっている。全町村加盟が理想的だが加入がない。

村では草刈り、庁舎周辺管理等を委託している。村内農家での利用も多い。



満杯に近い掘立処分場



耐震診断を行う中学校校舎

税金の支出を 決算

一貫道路
田村地籍

代替地問題で賛否討論

竜東一貫道路田村地籍工事に関して、監査請求の対象となった補償費とは別に、代替地として村土地開発公社造成の住宅用地を低い価格で分譲しているのではないかと指摘がなされ、本会議ではこの問題を中心に四人の討論がありました。要旨は次のとおり。

不公平な行政執行は認められない
【反対】下平議員
他の決算はよいが、この問題については認められない。監査委員の指摘のとおり、同じ住宅団地で価格が、一人にのみ坪一万九千円もの開きがあるのは公正を欠く。他の三人は県道改良、この一人は村道改良に伴うものと説明されたが、そんな理由は成り立たない。公正、公平は、行政に欠くことのできない根幹のはず。補償金支払いでも種々問題があったが、これに加え代替地を漬地の価格に合わせるために、同時期に分譲した他の者との大きな格差をつけてまでつじつまを合わせる手法は間違っている。交渉過程で問題があったなら、議会や公社へしかるべき提起をし、合意のもとで進めなければならぬ。

早急な開通が住民要望やむをえない解決方法
【賛成】唐沢議員
地方財政の厳しさが一層進展した年で、多様化する住民要望を実現していく視点から、克服すべき課題を抱えながらも、全体としては認定することが適切。六十五歳以上が二七％を超え、健康で長生きしてもらおうための新しい取り組み、はつらつ建設や支援活動、介護利用料の半額助成は注目に値する取り組み。村内から切望された一貫道路田村地籍の開通も大きな成果の一つ。予算執行で少なからぬ問題はあったが、会計処理や法令上の不正ではなく、公平公正の面で問題とされている。しかし、相手のある交渉は一〇〇％ベストは困難で、特に本件は最も困難を極めた部分。この解決方法は一日も早い開通を望む住民感情からやむをえないと考える。

議会や公社理事会へも明かされなかった重大事実
【反対】筒井(卓)議員
四千万円の上乗せ補償は議会で審議されたが、これの他に代替地を低額で譲渡したことは、監査や議会で指摘されて初めて明らかにされた事実。不公平と村民に損害を与えた事実は、どんな理由をもって覆せない。公社で投資造成した住宅用地を一部、なぜ一人にだけ農地並みの低い価格で譲渡したのか。他の人も要望すればそうするのか。難しい交渉は、相手の印も無いのに、その家を取り除いて道を開ける工事を始めてしまった村長自らが招いたこと。又、難しさを理由にするなら、他の関係者に対してはどうなるのか。これらの重大事実は、四千万円の上乗せ補償の審議の際まったく知らされなかった。これでは議会が正常に機能しない。

包括的合意であったと判断する
【賛成】奥山議員
下平議員、筒井議員の指摘は全くそのとおりであると思う。資料によれば、以前の所有者から買収した時点では評価は対等。それを公社で宅地造成した。相手方の様々な要求の中で合意に至ったが、それは、個々の積み上げではなくすべてを含んだ合意だったのでと思われる。公社で開発し七百五十万円ほどの付加価値ができたが、それをどこで補填するのかしつかり議論ができていなかったし、議会へも説明が十分でなかった。関係地権者に対しそれを説明する義務も負っている。様々な問題を含んでいるが、包括的合意だったという見方ができるので、十分な説明による議論でなく不満が多いが同意せざるを得ないと判断する。

税金の支出を総点検

決算 特別委員会の審議から

その二

経済建設関係

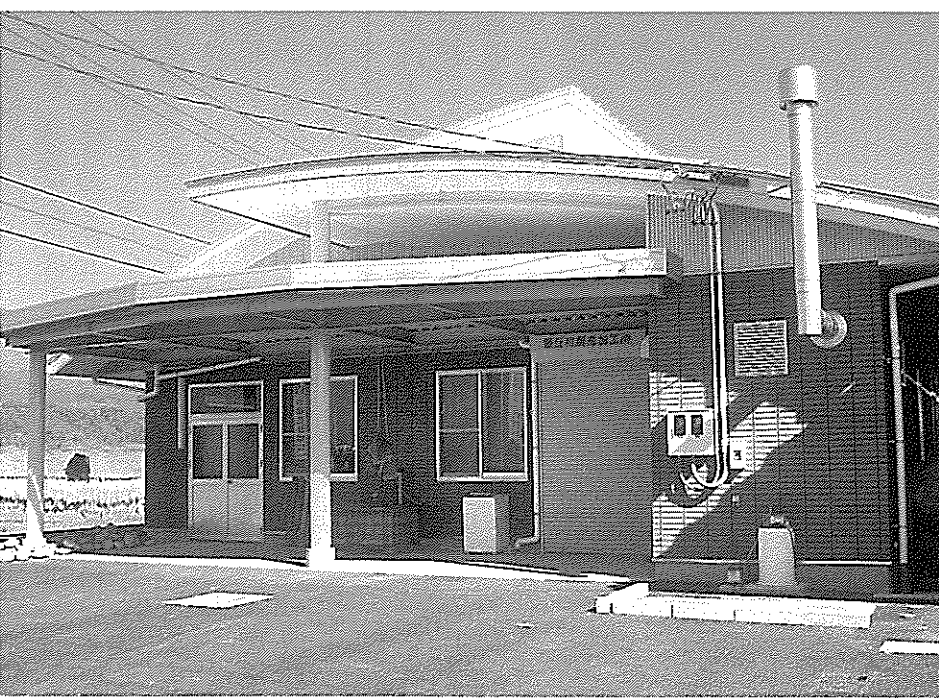
農業・林業
商工・土木は

共通商品券の効果は

鹿角議員 共通商品券三百万円の補助の効果はどうか。
福沢課長 大型、高級品は村外に行ってしまう、商品券は食料品などへの利用。効果ははっきりしない。低所得者には利用ができずまだ余っている。

商工会の運営と活力は

林議員 商工会の運営と活力は福沢課長 商業については維持していくのがやっつとである。村からの利子補給や預託金による融資が効果を上げているが、不況対策で前向きな投資でなく、建設は公共投資が少なく、工業は海外進出が目立っている。



軌道に乗れるか 加工施設

農業振興費残っているが

壬生議員 農業振興費百二十七万円残っているがバラマキではないか説明を。
福沢課長 見直したい。やる気のある新しいものを開拓していくようなものに補助できるようにしたい。

加工施設は軌道に乗れるか

林議員 加工施設は「だいち」が指導するのかわ？村の補助金がなくなったらどうなるか、軌道にのれるか見直しは。
村長 販路は支援する。自立してもらおうやっつとでもらっているが企業的にはできない。今年

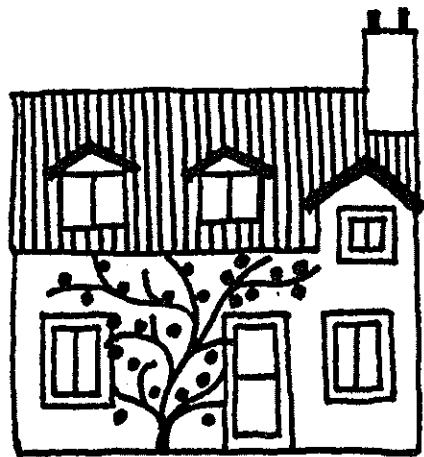
は方向を出していかなければと考えている。経営管理をする人が必要。

有害鳥獣対策と効果は

鹿角議員 有害鳥獣対策に一千万円投じられているが効果は上っているか。
福沢課長 捕るに追つかない状況で、放って置けば増えていく。今は中段地帯まで下りて来ている。今後、ワナ、オリ等による捕獲もしていきたい。
林議員 野田平キャンプ場は収支はどうか。
福沢課長 収支的には赤字であるが、ポイイスカウト、学童保育には人気がある。利用者は横ばいである。
鹿角議員 日影地解消はできてくるか。
福沢課長 できている。
吉川議員 太陽光発電は何件位あったか。
福沢課長 二十件程である。
福沢議員 道路新設改良費は前年対比どの位落ちているか。
福沢課長 落ち込みは一〇％位である。



問 質 般



質 若者向村営住宅の進捗状況について

答 第四次振興計画の中で

片桐 秀人

質問 私はこの問題について昨年十二月に一般質問を行い、地元の強い要請があれば考えるとの答弁を頂きました。今年三月には河野区長名で同様主旨の請願があり採択されていますのでその進捗状況を伺いたい。この伊那谷の村で人口対策、若者定住対策として村営住宅を建設している村がいくつもある。財政の苦しいのは我が村だけではなくその中で村の将来を真剣に考え取り組んでいる。村長はあまり危機感を持っているとは感じられず第四次振興計画の中に入れようとしているが、村長は将来一校制にしてもかまわないと思っているのか、又第四次とすれば次期村長に委ねることになるが、次期も村長をやるつもりなのか伺いたい。

村長 今第四次振興計画を審議

とあります。この工区については十三年度の予算が未消化の分があり繰越しになっており、十四年度も半分が過ぎようとしております。地元推進委員の中にも早期着工を願う声が非常に多くあります。村長は未整理の所があるからとためらっているようですが、田村の一件とは問題が全然違うんだと私は理解しております。この道路があくことにより悲願である架橋の問題も

質 一貫道路河野地区の工事着工は施設移転先の交渉をみて

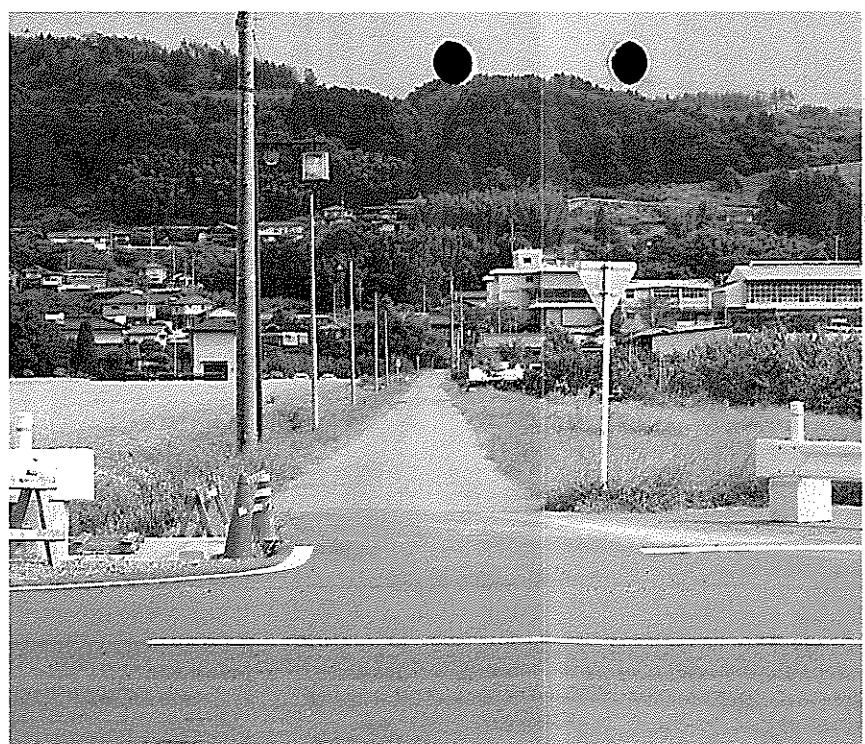
久保田 博人

質問 河野八王子交点から北小学校の下の工区については、平成十二年より関係する皆様にご協力をお願いして参りました。現在は関係者各位の御理解と

御協力により本工事への準備は順調に進んでいると思えます。私は地権者の皆さんの御協力に応えるために一日も早く本体工事の入札着工が急がれるべき

一步前進するだろうと思えます。こうした事態の中で工事の進め方についての考えを聞きたい。村長 地権者の皆さんの御理解で窪田葛瀬線の見通しが立っている事は嬉しいが一部施設の移転先が今日現在決まっていな

い。その受入先について検討をいただき、施設所有者にも迷惑がかからないように、また地元



八王子交差点から改良予定地をのぞむ

の皆さんにもなんとしても深い理解を得たい、そんなお願いをしている所です。移転先の皆さんとも交渉できる予定ですのでその様子をまっとう推進委員を始め関係の皆さんと相談させていただきます。

一



優良営農団地として視察も相継いだ田村原だが

質 農業生産性向上対策を具体的に

答 支援対策を検討

福沢 幸雄

質問 農業は近年従事者の高齢化や減少、輸入農産物の影響により苦戦を強いられ、これが日本経済の力が出ない要因にもなっている。輸入農産物との差は価格問題、つまり生産性。

農業もやり方によってはよい仕事だと見本を示す方策。

④加工販売や民宿等資源を活かすことによる経済力の向上。

以上のような施策を推進しつつ、何よりも生産性向上のため「生産性向上対策委員会」の設置を提言したい。

今年不調の梅について。和歌山へ自ら売込みをしたり新品種栽培の実践の中で思うことは、干梅である程度の品質と価格が確保できれば、三ヘクターで二千万円余の売上も可能。これで輸入農産物に太刀打ちすれば、この意義が日本農業の振興につながる。遊休農地の活用を兼ねた経営規模の拡大は可能。他の作物も同様で、「儲からない」と言う前に、実践が必要。

そこで、①農業は生涯現役で所得をあげられる仕事。誰でもやる気のある者への協力援助。

②農地貸借への援助の充実。

③株式会社等の経営参入を認め、

村長 様々な要因により遊休農地は増。農業振興策には誰もが悩み、所得増につながる改革が必要。観光農業、高い技術力の活用、法人・共同経営体の推進等考えられるが、担当でしっかり議論し支援対策を相談したい。産業建設課長 農業者自らの自立が求められるが、このような状況下、行政の支援も必要。関係機関協調し具体的振興策を検討している。

提言 行政もJAも農家も、やる気のみが道を開く。

一般

質

問



とうなる郷土沢川部会

を控える等、経費節減、無駄のない行政運営に努める。
 質問 そのためにどの町村も必死に行政改革を行っているが、なぜ当村は行わないのか。
 村長第四次総合振興計画や合併問題等で多忙でおろそかになっていた。これから推し進める。
 質問 危機的財政に対処する一

手法として、全国的に市町村合併の研究が行われている。広域連合では飯伊全体を一つにする合併を目指しているように見える。本年行った当村のアンケート結果は「もし合併なら北部地区で」が多かった。村長は小委員の一人だが、この民意をどう反映させるのか。

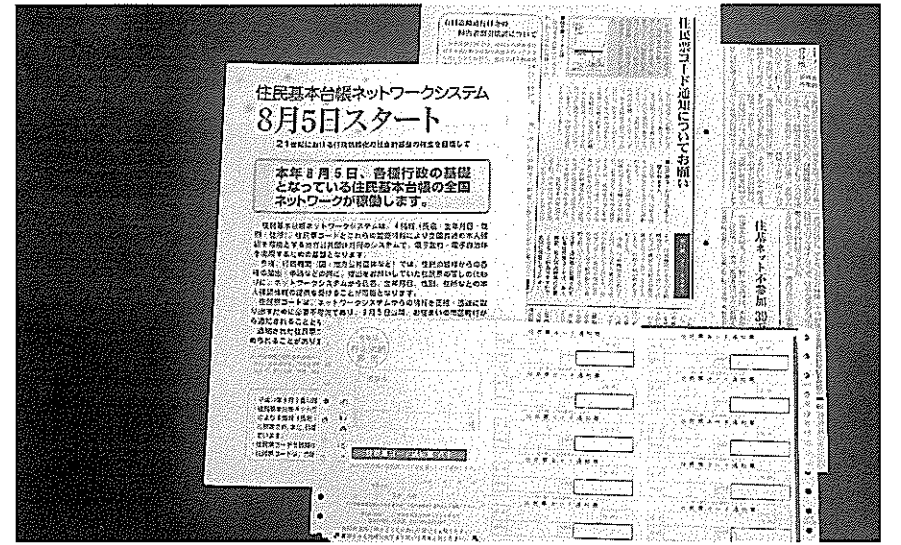
質問 当村の財政の将来見通しは事務当局の試算では、歳出が今のまま推移すれば平成十七年度には約五億円の赤字、以後も同程度の赤字となる。村の歳入

の約半分を占める地方交付税は、今年度国全体では四割減なのに当村では八・六％、約一億六千万円の大幅な減少で、下目に見た当初予算をも下回っている。

質 村財政の見通しと対策について

答 無駄のない行政運営につとめる

筒井卓徳



質 個人情報の保護はどうする

答 罰則規定などで対処

前沢光昭

質問 住民基本台帳ネットワークシステムは、すべての国民に十一ケタの背番号をつけて管理するシステム。各市町村に端末機を置き住民票の発行や国の事務に利用することになっている。村民のあいだでもまだよく知らない人が多い。
 従来住民基本台帳は各市町村の厳重な管理のもとにあった。①村としてどのようにとらえているか。今後の考え方は。
 ②住民ネットワークの前提条件としての個人情報保護法案は当初の目的と大きくはずれ、行政の都合を優先させたもので国会の成立はなかった。個人情報漏洩やシステムの防衛上の不安が高いがその対策と漏洩した時の対策は。
 村長 大事な事柄なので、村としては広報での紹介、CATV

を使つての周知を図った。村民からの問合せは、保管についてどうするか程度で特に問題はない。加入拒否や削除を求める動きがあれば話し合いをして協力をお願いする。
 住民課長 村での漏洩があれば罰則規定がある。
 四つの情報はすでに登録済みで、現段階では防ぎようがない。村でのCATVデジタル化は質問 国が公共放送デジタル化を進めている。村でのデジタル研究委員会の進捗状況、運営などの研究検討状況は。又インターネット接続での現回線利用は可能か。
 村長 村でも研究委員会が高森など視察、現回線利用は可能だが広域対策で検討中。

村長 もし合併するのならそういう形がいいのでは、連合会議で申し上げている。



質 県知事選の「民意」と郷土沢ダム建設は

答 ダム建設不要とは理解しない

唐沢啓六

質問 全国から注目を集めた県知事選挙は、田中知事が六四％余の得票を得て再選された。豊丘村でも約五〇％の得票で第一位であった。これは知事不信任に対する県民の怒りが最大の要因であったが、知事の一年八ヶ月の実績も評価されたといえる。実績の中で最も注目をあびたことは「脱ダム宣言」であり、これを支持した「民意」をどう認識しているか。
 又、郷土沢ダムについても建設一辺倒ではなくダムに頼らない治水・利水のあり方を検討していく立場にたつべきではないか。

村長 選挙の結果は、ダムを造らなくてよい「民意」とは理解していない。地域に安心して住むことができる環境をつくることに長年研究しダムを造るといふことで現在に至っている。これからのダムができることを積極的にお願いしていきたい。
 質問 介護保険制度の改善を
 質問 介護保険制度は現在次期（平成十五年より三年間）計画についての見直し作業が行われている①第一号被保険者（六十五歳以上）の次期保険料はいくらと試算しているか。又、低所得者への軽減対策として現行五段階制から六段階制を採用すべきと考えるが、②現行制度は改善すべき課題が山積みしている。介護者の要望をどう次期計画に反映していくか。
 村長・住民課長 二千九百二十三元と予測している。六段階制については、低所得者の負担緩和の二つの選択肢と考えている。
 ②懇話会や在介の職員、デザイナーやヘルパー等現場の意見を聞きながら、前向きに考えていきたい。

総務

地方税源の充実確保について

全国町村議会議長会長より、不景気の真只中で、中小企業明年度税制改正に伴う「地方税源確保に関する意見書」採択提出の要請があり、その審査を総務委員会へ付託されております。

この要請は、極めて厳しい地方財政状況に鑑み、地方公共団体の財源の充実確保を目指そうとするのですが、法人事業税への外形標準課税の導入を早期に実現するように、と云う内容も含まれております。

不景気の真只中で、中小企業への八〇%以上が赤字と言われている現在、赤字企業でも課税しよとする外形標準課税の導入が今必要なのか、この影響で中小企業の活動が更に停滞した場合、地域の経済や活力にどのような影響があるのか、慎重な見極めが求められるところです。

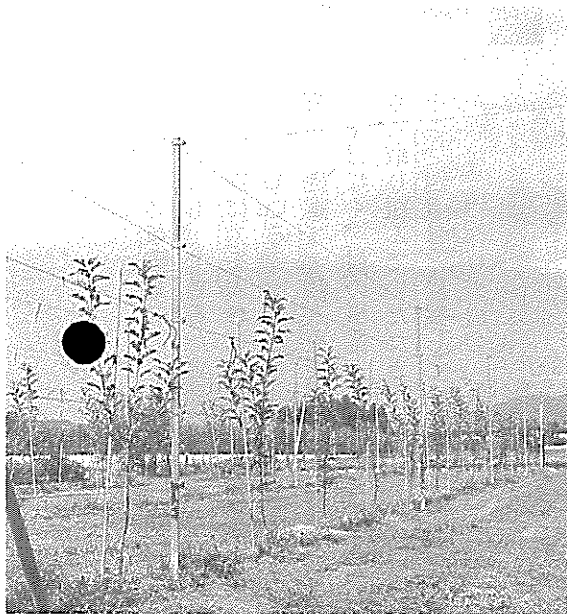
地方自治体の税収増は大事な課題ですが、一方ではその地域の住民や企業に負担増を求め兼ねない難しさもあります。

一方、歳出削減の為に、行政経費の節減や行政サービスのレベルを落とすのか、行政に対する負担と受益の基本的な問題であり、総務委員会としては慎重に審査しなければならぬと考えております。

総務委員長

筒井卓徳

だより



期待される新品種「初つがる」

経済建設 決算審査から

平成十三年度一般会計の経済建設分科会に付託されました審査に於いて特に気付いた点を申し上げます。

一、労働費の緊急雇用対策委託 対策薬剤補助

二、農業総合新興事業「実績」 畜産関係二百十五万七千円 畜舎の一斉消毒の薬剤補助臭気

一、労働費の緊急雇用対策委託 対策薬剤補助

金国庫補助金として約四百万円事業として黒谷線・支障木伐倒及び搬出、従前の松くい虫燻蒸処理木の搬出ビニール

二、農業総合新興事業「実績」 畜産関係二百十五万七千円 畜舎の一斉消毒の薬剤補助臭気

果樹関係四百十六万六千円 土作り推進事業（堆肥購入）

果樹・野菜結実安定対策事業（ミツ蜂共同借入経費補助）

● 果樹品種更新及び新改植事業 イチゴ優良苗確保対策事業

● 果樹減農薬栽培事業 米生産調整転作誘導対策事業

● 果樹新品目導入対策事業 * 農業振興補助金の在り方について、バラマキ行政ではないか

● 普通作関係九十五万一千円 今後やる気のある新しい事業へ

● 野菜経営安定化対策事業 (基金積立て金額に対する補助金の見直しを要望した。

● 中山間農地活用対策事業 経済建設委員長

● アスパラガス作付振興対策 鹿角鉄男

委員会

社会

増える医療費と負担増

介護保険特別会計

介護保険料は、二年ごとに見直しがされることになっております。今後三年間の利用の状況を想定しますと、

①施設介護の利用増が見込まれます。(稲荷梨団地跡地に鼎の健和会で、六十床の老健施設を計画している等の条件整備が進むと考えられます)

②利用者の介護度が上がることも考えられ、支援サービスの

利用の増加が予想され、保険料の二五〜三〇%の値上げが検討されています。

国民健康保険特別会計

若者の医療費はほとんど増加していませんが、

①過去二年間国保税を減税してきました。

②老人保健の医療費が増える

と、国保会計からの老人保健拠出金が増えます。十三年度は三〇%増えました。

このままの傾向が続きますと国保会計は大変厳しい状況になります。これからの二三年程で国保財政調整基金(一億二千八百万円)を大きく取りくずすような状況に追い込まれます。

制度の見直しがない限り、国保税の大幅な値上げが必要となります。

社会副委員長

奥山義臣



いつまでもお元気で—敬老会



私の一言

それからたぶん三十年間で今の様な時代が出来上がったと思う。それ。それは、多くの人が望み、それに対して努力し、力をそいで来た結果だと思ふ。そして向かえた『バブルの崩壊』その事による、経済の低迷、今まで、感じ

価値観の転換

啓 智 生 壬 北 沢 生 壬

現在の様
に、物があ
ふれ、何で
も欲しい物
が手に入る
世の中になつたんだらう。
少なくとも私の小学校の低学
年の頃は、こんなに便利では
なかったと思う。テ
レビもなく、家用
車はなく、道路も主
要道路以外は、砂利
道だった気がする。
そう思い出してみ
ると、四十年前はそん
な世の中だったと思
う。

現在の様
た事のない流れに、大きな不
安を感じ、何をどうしたら良
いかと迷う今現在です。
こんな時、我々は何をした
らいいのかと思つた時、現在
の施設の維持、文化の伝承、
自然環境のたて直し、そして
他人に対する思いやりだと思
う。

豊丘村議会では十二月定例会で「日曜議会」
を予定しています。是非傍聴にお出掛け下さい。

一口に言っても何を
どうしたら良いのかわ
からないけれど、豊丘
では、子供の頃から、
全員参加型のボランティ
ア活動をする機会を持っ
ているとか、新しく物
を作る時は、何が必要
なのかを、受益者が意
見を出し合い、戦わせ
て、より良い方向を出
していく事だと思ふ。

ただし今の物をどうやって
大切に使い、未来に使い続け
るかも、もっと大事だと思ふ。
今までのインフラを大切に
有効に使うために、『気持ち
の切り換え』を始めないとい
けないと思ふ。

北部議会合併問題初会議 合併資料作成を首長に要請

北部ブロック町村議会議員研

出席した。

修会に、豊丘議会で提案し採択

初会議では、

された「市町村合併問題研究の

一、経過報告。一、各町村議

ための組織づくり」の第一回会

での取り組み状況。一、資料説

合が、十月四日大鹿村で開かれ

明(五町村及び飯島町、中川村

た。この会議は「北部地域五町

の十三年度一般会計決算状況等)。

村の合併問題について研究討議

一、今後の進め方。について協

を行い、将来のあり方を研究す

議された。

る」ことを目的としており、豊

それぞれの視点から意見交換

丘議会からは、筒井議長、池野

がされた。各町村議会の合併問

合併問題研究会委員長、筒井総

題への取り組みにも相違があり、

務委員長、丸岡議会議務局長が

合併問題研究会を発足している

のが、松川町議会(八

人)と豊丘議会(全員)

で他町村は全員協議会

での協議にとどまっ

ている。推進意見、慎

重意見と別れたが、ま

とめとし「住民が合併

の是非について判断材

料となる統一した資料

づくり(一郡一市、北

部五町村、合併しない

場合の資料)を早期に

実施していただく事、

資料作りの為の人的配

慮も含め首長に北部議

会の連盟で申し入れる」

ことを決め散会した。

編集後記

▼今年夏季にほとんど雨に恵

まれず、夏は暑い日が続いた。

九月後半にようやく雨に恵まれ

た。このところの湿りで山も活

気づき「松茸」とりの人たちが

らは豪快な話を聞かされる。ひ

そかにおすそわけを期待しては

いるのだが。反面稲作の方はど

うか、減反も進められ、豊作に

なっても余り喜べないし。経費

はかかるし、松茸の取れる年は

米は取れないと言うが?

▼下条の梨から端を発した無登

録農薬の問題は大きく問題を広

げている。問題は製造が中止さ

れてから使用禁止となるまでの

猶予期間で、メーカーもそれを

考慮して生産し在庫を抱える。

農家は数年分の在庫を抱える。

問題となったダイホルタンは十

年も前の禁止薬物、メーカーに

は回収義務もなく、県の指導も

禁止となった後の指導責任がな

かった。やるべき事をやってこ

なかつたため風評被害など大き

な問題となった。ちなみに下条

の梨から検出された量は、○・

○四PPM(一億分の四グラム)

梨を、一日三十個を三百日食べ

続けた場合、一人に一人出る

かどうかという数字である。



北部合併問題研究会